

リコーフューチャーズ

社会課題解決を通じ、グローバルスケールで世の中に意義のあるインパクトを

私たちは、お客様の“はたらく”を変革するデジタル技術を活用した新規事業を通じて、「生活の質の向上」と「脱炭素/循環型社会の実現」をビジョンとして掲げています。新しい技術やアイデアが生まれ育つ環境を整え、事業の早期のスケール化と収益化を図ります。事業開発と技術開発を両輪で回して取り組みを加速させ、パートナーと共に社会課題解決に向かって連携し、描く未来を実現します。



小林 一則
リコーフューチャーズ
ビジネスユニット プレジデント

21次中経達成に向けた課題

- 社会課題解決への貢献と成長を同時実現する事業へのフォーカス
- メリハリのある経営資源配分と早期の収益化
- オープンイノベーションによる新たなバリューチェーンの構築と顧客価値の創出

2024年度の注力ポイント

「選択と集中」「適正なポートフォリオマネジメント」による早期の事業拡大と収益化

- フォーカス領域、投資対象領域、および投資額上限の明確化と、マネタイズ構想の強化

お客様、パートナーとの共創による事業および技術開発の加速

- 積極的なパートナー開拓による、自社だけでは実現できない顧客価値の創出（インクジェット電池事業、バイオメディカル事業など）

市場環境認識

日本では労働人口減少を背景に現場での生産性向上が求められる中、業務のデジタル化のニーズが高まっています。また、社会の潮流である脱炭素・循環型社会の実現や健康寿命延伸への期待の高まりを、事業拡大の機会ととらえています。リコーの独自技術や顧客基盤といった強みをベースに、オープンイノベーションを掛け合わせ、社会課題解決と新規事業創出の早期同時実現を目指します。

リスク(▲)・機会(●)	対応
▲ 社会課題解決に貢献する事業の具現化および規模拡大の遅延	リコーグループのもつ技術のさらなる活用と、オープンイノベーションの促進
▲ ELSI（倫理的・法的・社会的課題）対応力の欠如による企業信頼失墜 / 事業機会損失の発生	倫理啓発に向けた推進体制の構築と活動の推進ならびに価値創出プロセスにおける技術倫理活動などのさらなる強化
▲ 社会情勢を踏まえた、部品および原材料供給の遅延や停止によるサービス投入機会の損失	リスク発生を想定した、重要部品別の複数仕入先の選定または代替品の選定など、予防・対応プロセスの強化
● 360度画像・映像を活用した建設現場のDXに対するニーズの拡大	パートナーとの共創による建設現場のDXに向けた360度画像・映像の活用と、新たな市場におけるユースケースの開発と展開
● 新たな感染症の脅威や経済安全保障を踏まえた国内創薬力強化に関するニーズの高まり	エリクサジェン・サイエンティフィック社の子会社化による、創薬支援事業や治験薬製造基盤の整備・構築
● さまざまな用途に応じた高機能・高性能二次電池への期待の高まり	材料コスト削減が期待できるインクジェット技術によるリチウムイオン二次電池の製造技術の開発